

## 第1回三重県地球温暖化対策総合計画（仮称）策定部会

### 1. 日時、場所

日時：令和2年2月6日（木） 午後2時00分～午後4時30分

場所：JA三重健保会館 3階大研修室

### 2. 議事

#### (1) 三重県地球温暖化対策総合計画（仮称）策定部会長の選任について

- 部会長は、委員の互選により、朴委員に決定した。
- 部会長代理は、朴部会長の指名により、立花委員に決定した。

#### (2) 三重県地球温暖化対策総合計画（仮称）の策定について

##### ① 策定の考え方について

- 資料2から資料4について事務局から説明。
- 委員からの主な意見は以下のとおり。
  - ・ 2050年までに温室効果ガスの実質排出ゼロをめざす宣言をしたことは大きなターニングポイント。そこに向けてはイノベーションもあるだろうが、まずは2030年度に向けて道筋を示していくべき。
  - ・ 自動車は日本中を走るため、運輸部門については全国的な視点での対策が必要。
  - ・ 国の目標(26%減)に三重県独自の上積みをし、目標を定めることが必要。

##### ② 三重県の温室効果ガス排出状況等について

- 資料5から資料7、参考資料について事務局から説明。
- 委員からの主な意見は以下のとおり。
  - ・ 県民の意識調査において、郵送等による大規模調査とe-モニター方式では回答する県民の行政に対する関心度が異なるため、データの扱い方には注意する必要がある。
  - ・ 三重県でのCO<sub>2</sub>排出量において産業部門は割合が高いため、企業に対して呼びかけるだけでなく、表彰制度や設備投資へのインセンティブを与えるような施策を検討してはどうか。
  - ・ スーパーに行くと大量にプラ容器が使われており、それらはすべて廃棄時にCO<sub>2</sub>を出すことになるので、製造者、消費者の両者が考えないといけない。
  - ・ 森林吸収量の算定については、単年度の精度を求めるのは難しいものであるため、大きなトレンドを見てもらうような工夫が必要。

- ・ 県庁でのノーマイカーデーについて、年ごとの統計を取るべきではないか。
- ・ 建築物におけるエネルギー効率を良くするべきである。省エネも大事だが、居住環境を向上させて、生産性を高めることも重要。
- ・ 学校へエアコン設置を進めるのはいいが、多くの学校は断熱構造となっていない。同時に、木質化やサッシの樹脂化、二重窓にするなどの色々な方法を組み合わせることによって、エネルギー効率を上げる必要がある。

### ③ 適応計画について

- 資料8について事務局から説明。
- 委員からの主な意見は以下のとおり。
  - ・ 例えば、夏休みであれば決められた期間に休むだけでなく、当日の天候に応じて臨時休校日を設けるなど、学校の熱中症対策として多種多様な対応が考えられる。
  - ・ 人間が暑さを感じる原因は熱収支（人体と外気との熱のやりとり）。気温だけでなく、日射など周辺の熱環境も熱中症の原因となるので、真夏以外も対策も重要。